
株式会社メガチップス

2020年3月期 第3四半期 決算説明

<https://www.megachips.co.jp/>

目 次

- 1. 2020年3月期・3Q業績報告 3
- 2. 2020年3月期業績予想 8

2020年3月期 3Q業績報告

2020年3月期 3Q連結業績(P/L)サマリー

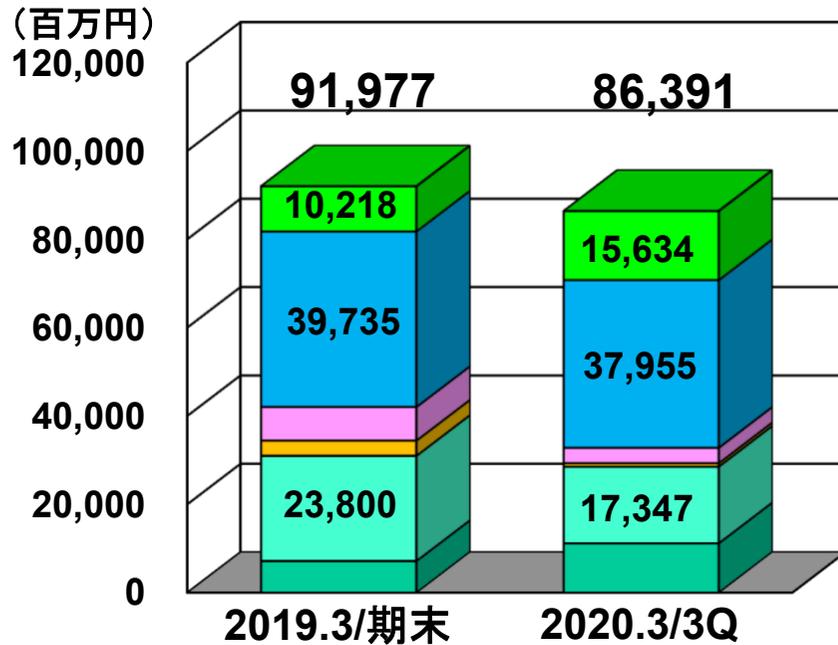
| (単位:百万円) | | 2020.3期 3Q実績 | 2019.3期 3Q実績 |
|----------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 連結 | 売上高 | 51,200 | 81,233 |
| | のれん等償却前 営業利益 | 2,749 | 3,474 |
| | のれん等償却 | 1,862 | 1,975 |
| | のれん等償却後 営業利益 | 887 | 1,499 |
| | 経常利益 | 587 | 1,563 |
| | 親会社株主に帰属する当期純利益 | -1,678 | 47 |
| | 1株利益(円) | -77.12 | 2.20 |

2020年3月期第3四半期の連結業績につきましては、前第4四半期に実施したシステム事業部門の譲渡に伴う売上減少分があったこと、顧客専用LSI分野及びSmart Connectivity LSIの需要がそれぞれ減少したことにより、売上高、各利益とも前年同四半期を下回る結果となりました。

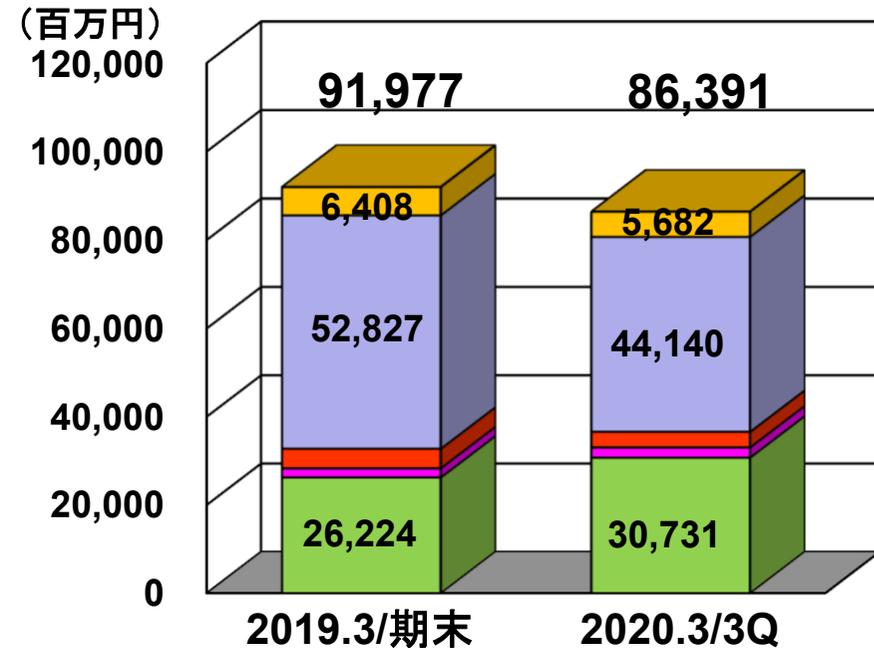
<構造改革>

一過性の要因として、2019年12月12日の開示“業績予想の修正並びに投資有価証券評価損の計上に関するお知らせ”のとおり、Smart Connectivity (DisplayPort)事業部門の譲渡により事業譲渡損を19億5千9百万円、投資有価証券評価損を5億4千6百万円、2020年3月期第3四半期に計上しております。

2020年3月期 3Q 財政状態



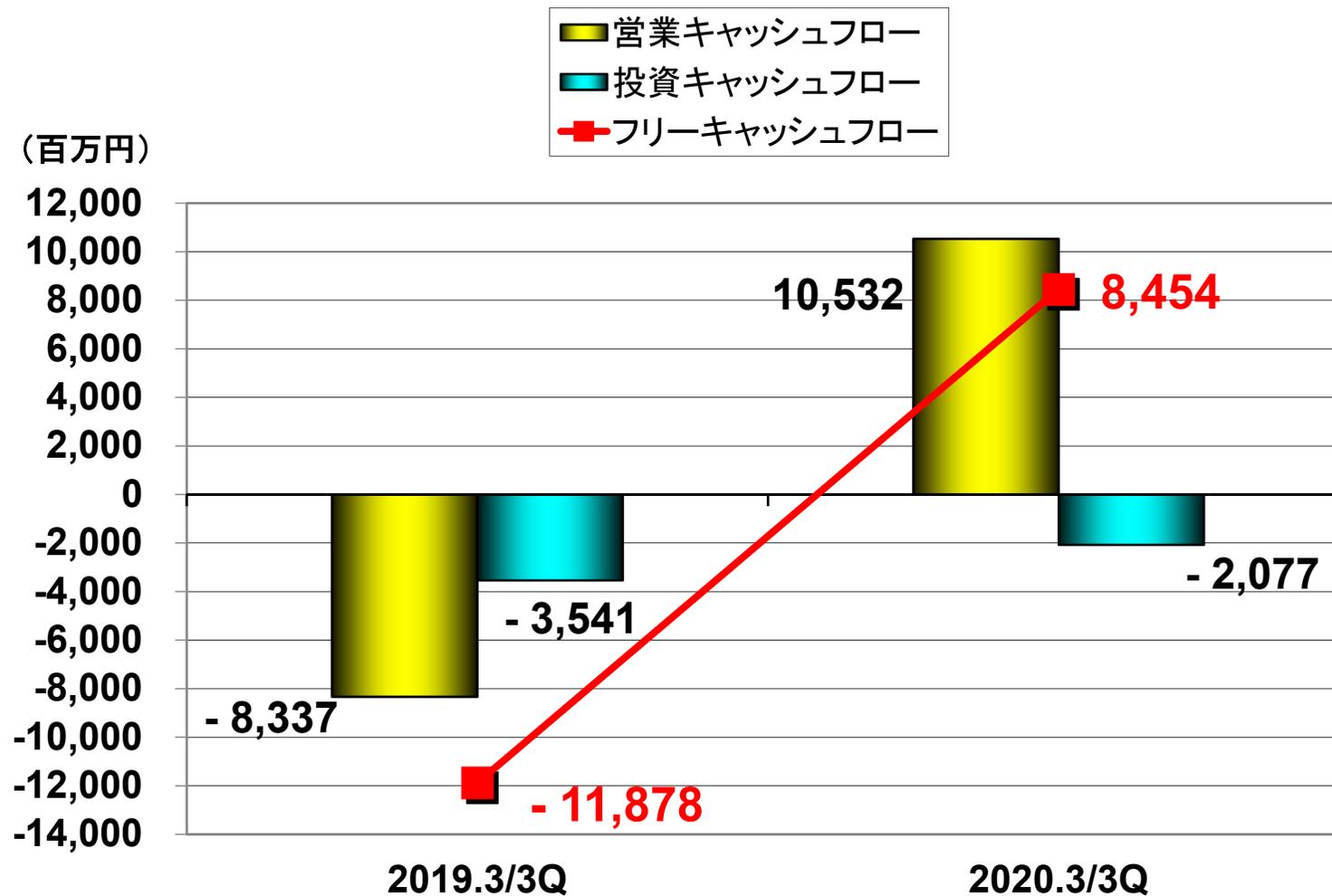
| | 2019.3/ 期末 | 2020.3/ 3Q |
|-----------|---------------|---------------|
| 現金及び預金 | 10,218 | 15,634 |
| 受取手形及び売掛金 | 39,735 | 37,955 |
| たな卸資産 | 7,608 | 3,495 |
| その他の流動資産 | 3,443 | 780 |
| 無形、有形固定資産 | 23,800 | 17,347 |
| 投資その他の資産 | 7,173 | 11,180 |



| | 2019.3/ 期末 | 2020.3/ 3Q |
|-----------|---------------|---------------|
| 支払手形及び買掛金 | 6,408 | 5,682 |
| 有利子負債 | 52,827 | 44,140 |
| その他流動負債 | 4,447 | 3,544 |
| その他固定負債 | 2,071 | 2,294 |
| 純資産 | 26,224 | 30,731 |

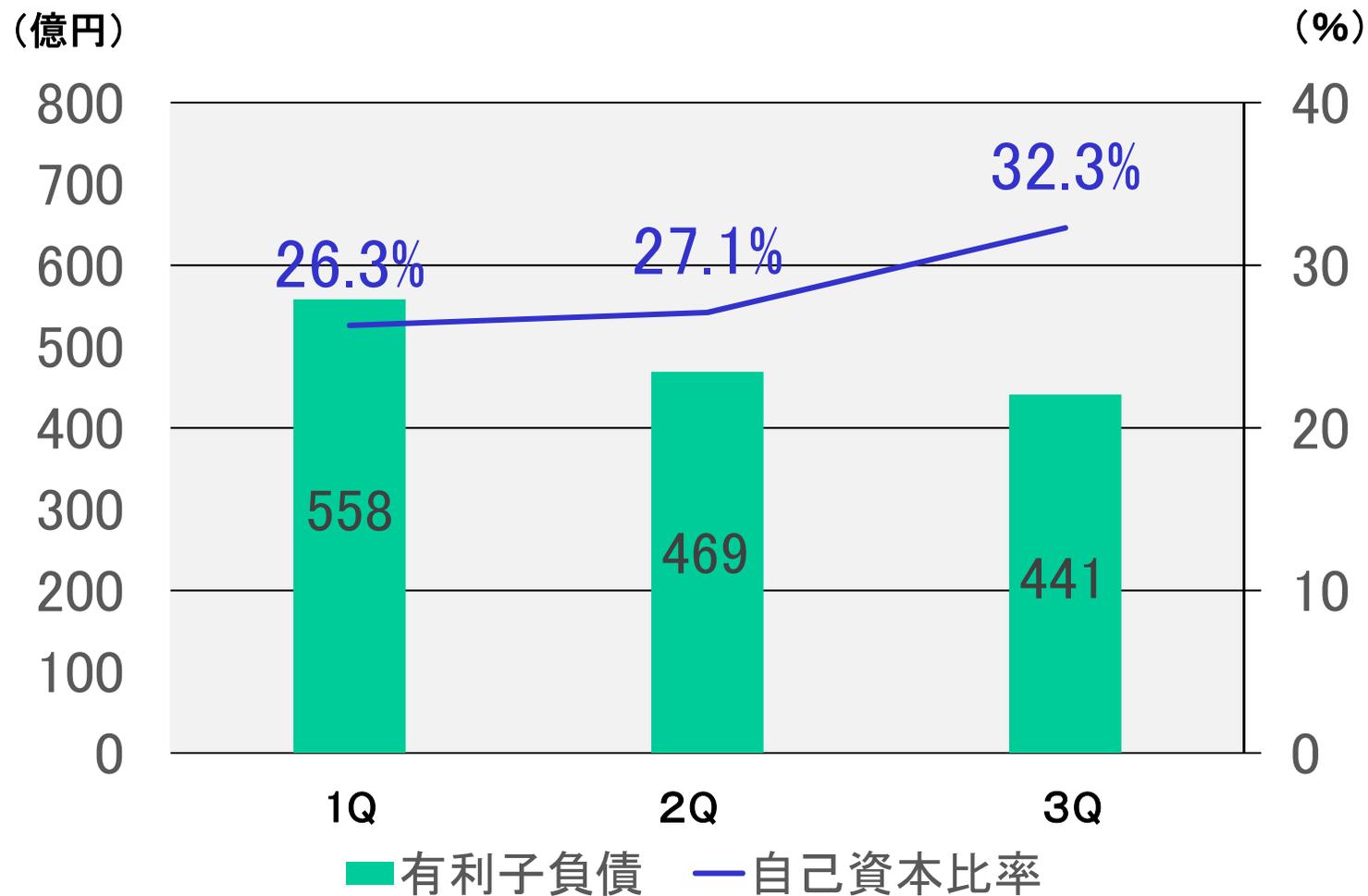
2020年3月期 3Q キャッシュフロー

営業キャッシュフローの改善



2020年3月期 有利子負債及び自己資本比率

財務体質の強化、自己資本比率の向上に取り組んでおります。



2020年3月期 業績予想

2020年3月期 業績予想

| (単位:百万円) | | 2020.3期 通期 予想 | 2019.3期 通期 実績 | 対前年 通期 増減率 |
|----------|---------------------|---------------------|---------------------|------------------|
| 連結 | 売上高 | 65,000 | 95,145 | - 31.7% |
| | のれん等償却前 営業利益 | 3,250 | 3,152 | + 3.2% |
| | のれん等償却 | 2,600 | 2,579 | — |
| | のれん等償却後 営業利益 | 650 | 573 | + 13.3% |
| | 経常利益 | 250 | 502 | - 50.3% |
| | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | -1,550 | -1,727 | — |
| | 1株利益(円) | - 71.25 | - 79.40 | — |

※2020年3月期業績予想につきまして、前回(2019年12月12日)業績予想からの
変更はございません。

※2019年3月期 期末為替レート:米ドル 110.99円、台湾ドル 3.5984円

※2020年3月期 前提為替レート:米ドル 110円、台湾ドル 3.5円

≫ 基本姿勢

当社は、「公平性」「適時性」「正確性」「継続性」に配慮して、経営戦略や財務状態等の会社情報を発信し、経営の「透明性」を高めるとともに、株主・投資家・証券アナリストの皆さまからの当社に対する信頼と適切な評価を得るために、経営者自ら積極的なIR活動に取り組みます。

≫ 情報開示の基準

当社は、金融商品取引法、会社法等の諸法令(以下、「法令」)、また当社の株式が上場されている東京証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示に関する規則」(以下、「適時開示規則」)を遵守してディスクロージャーを行います。また、法令ならびに適時開示規則に規定される開示基準に該当しない場合でも、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられとされる情報や、当社への理解を深めていただく上で有用であると思われる情報は、積極的に開示します。

≫ 情報開示の方法

当社は、適時開示規則に定める開示基準に該当する情報、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられとされる情報は、適時開示規則に従い、東京証券取引所が運用する適時開示情報伝達システム Timely Disclosure network (TDnet) を通じて開示するとともに、速やかに当社のインターネット上に開設するホームページ(以下、「ホームページ」)に掲示します。
また、これら以外の情報についても、当社を理解していただく上で有用であると思われる情報は、IR情報誌等の発行や、ニュースリリースの配信やホームページへの掲載を通じて情報発信します。

≫ 将来の見通しについて

当社が開示する情報の中で、業績予想や将来の予測等に関する記述は、その情報が開示される時点で経営者が入手した情報に基づき判断した予想であり、不確実性や潜在的なリスク(以下、「リスク」)が含まれる場合があります。しかし、結果としての業績等は、変化するさまざまな要因によって、予想とは異なることがありますことをご承知おきください。これらリスクは「事業等のリスク」として開示に努めますのでご参照ください。

≫ 投資の判断

当社の開示する情報は、当社に対する理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の判断において行なわれますようお願いいたします。

≫ 第三者が発行する当社情報への対応

証券アナリストや報道機関、インターネット上のさまざまな情報サイト等の当社以外の第三者が発信する、当社の情報・業績予想等各種情報については、当社はコメントやこれらを支持する立場にはありません。ただし、これらの内容に明らかな誤りが含まれており、当社への信頼と適切な評価が得られないと判断する場合には、その誤りを訂正し、正確な情報を伝えるための対応を行います。

≫ IR沈黙期間

当社は、株価に影響を与える決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、各四半期の、決算日含め5営業日前から決算発表日までを沈黙期間と定めます。この期間中は、決算に関連するお問い合わせへのコメントを控えさせていただきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。ただし、法令や適時開示規則に該当する情報については、沈黙期間中であってもディスクロージャーを行った後、お問い合わせに対応いたします。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社メガチップス
財務統括部 広報部

ir-team@megachips.co.jp

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1-1 新大阪阪急ビル
TEL: 06-6399-2884(代) FAX: 06-6399-2886